

2019年3月21日

2019年度 春季企画展 開催概要

(公財) 日本習字教育財団 観峰館

## 1、展覧会名

春季企画展「近江書画探訪～新しいけど面白い!？」展

## 2、開催趣旨

観峰館が所蔵する日本の書画作品は、江戸後期から明治・大正時代に集中しています。その中には、地元・滋賀県出身の日下部鳴鶴、巖谷一六、二人と同時代に活躍した佐賀県出身の中林梧竹ら「明治の三筆」をはじめ、時代を代表する書家の作品が含まれます。この時代の書は、唐様に重きが置かれ、多くの書作品にその影響が色濃くうかがえます。中には、清国へ渡航し、中国の文人たちと直接に交流する書家も現われ、篆書、隸書、北碑の書などの影響を受けた多様な書が生まれました。

同時に、東近江地域に目を向けると、近代の書画作品は、多くの名品が伝わっていながら、これまで公開されることはほとんどありませんでした。初公開作品を含む、地域所縁の作品とコラボレーションすることで、観峰館所蔵作品の存在意義に光が当てられると考えます。

この機会に、「近代」という新しい時代に生まれた書画作品を、じっくりとご鑑賞ください。

## 3、主催

公益財団法人日本習字教育財団 観峰館

〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町136

TEL 0748-48-4141 FAX 0748-48-5475

## 4、会場

新館特別展示室

## 5、会期

2019年4月13日(土)～6月16日(日)

前期; 4月13日～5月12日 後期; 5月14日～6月16日

休館日; 月曜日(4/29、5/6は開館)・5/7

## 6、入館料 (常設展示共通)

一般 500円 高校生・学生 300円 中学生以下 無料

## 7、広報物制作

チラシ A4 4色/4色 10000枚

ポスター B2 4色/0色 100枚

ポストカード 4色/1色 3000枚

\*関連図録 『収藏品撰集8 日本の書画』 500部

## 2019年度 観峰館企画展概要

### 8、関連イベント

#### ○ギャラリートーク&ミニコンサート

5月12日(日) 13時30分～15時

演奏者；テルミン奏者 児嶋佐織

所要時間；コンサート・ギャラリートーク各40分

参加費：無料（要入館料）

#### ○土曜講座

・4月20日(土) 13時～14時 「東近江地域の書画について①」

・6月8日(土) 13時～14時 「東近江地域の書画について②」

講師；当館学芸員 時間13時～14時

参加費 各500円（館内見学可）

#### ○石馬寺訪問ツアー

5月26日(日) 13時～16時

定員；20名 参加費；1000円（石馬寺拝観料、煎茶・御菓子セット）

### 9、主な出品作品（所蔵品以外）

・近衛基熙「一行書 春日大明神」江戸前期 松雲寺所蔵

・近衛家熙「装飾般若心経」正徳2年(1712) 小松寺所蔵

・伝相阿弥「龍虎図対幅」江戸前期 松雲寺所蔵

・月 僊 「獅子鳳凰図衝立」江戸中期 観音正寺所蔵

・塩川文麟「寒山拾得図」慶応3年(1867) 清源寺所蔵

・貫名菘翁「いろは大字屏風」安政4年(1857) 観音正寺所蔵

・「清林寺(東近江市)松居遊見叟碑文拓本」万延元年(1860)以後建碑

栗東歴史民俗博物館所蔵 \* 県指定文化財

・岸 竹堂「柳蛩図」江戸後期～明治前期 石馬寺所蔵

・中林梧竹「不二門草稿」明治後期～大正時代建碑 石馬寺所蔵

・中林梧竹「上石馬寺扁額」明治44年(1911) 石馬寺所蔵

・九鬼隆一筆「国宝石馬禅寺拓本」明治後期～大正時代建碑 石馬寺所蔵

・日下部鳴鶴「楷行書五言詩軸」明治後期 喜楽コレクション蔵

・「大岡寺(甲賀市)巖谷一六居士碑拓本」明治44年(1911)建碑

栗東歴史民俗博物館所蔵 \* 県指定文化財

○館蔵品とあわせて、約40作品の出品予定

### 10、展覧会担当者連絡先

公益財団法人 日本習字教育財団 観峰館

学芸員 寺前公基(てらまえ きみもと)

〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町136 TEL0748-48-4141 FAX0748-48-5475

k-teramae@nihon-shuji.or.jp

以上